

研 修 (研 究) 報 告 書

令和 5 年 1 0 月 2 7 日

玉名市議会
議 長 江田 計司 様

氏名 近松恵美子

下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

参 加 議 員	近松恵美子		
日 時	令和 5 年 6 月 2 2 日(木)～令和 5 年 1 0 月 2 6 日(木) 午前 7 時 0 0 分～午前 9 時 0 0 分		
場 所	オンライン研修 (特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター(PARC))主催	自動車使用に係る走行距離	km
研修(研究)事項	学校給食について		
概要及び所見	6 月 学校給食の危機と可能性 小口広太 7 月 子どもの食格差と給食費無償 鷹咲子 7 月 安心、安全こだわりの給食 北原浩平 8 月 韓国の親環境と無償化 白石孝 9 月 オーガニック給食をどう広げるか 本田恵久 9 月 みんなでつくる学校給食とまちづくり 田村典江 1 0 月 学校給食のこれから 藤原辰史 学校給食の無償化に対する全国の自治体の情報、また、給食に有機野菜を取り入れている自治体の情報、また韓国の取り組み、などについてズームで学んだ。 どれも欠かせない大切なことだが、現実の有機野菜は不足しており、また、その栽培技術も統一されてない状況の中、給食に有機野菜を使うことは、保育園という小さな団体で、試みることから始めるのがよいのではないかと感じた。		

様式 1

研 修 (研 究) 報 告 書

令和 5 年 5 月 1 8 日

玉名市議会

議 長 江田 計司 様

氏名 近松恵美子

下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

参 加 議 員	近松恵美子		
日 時	令和 5 年 5 月 1 8 日(木) 午前 1 0 時 0 0 分～午前 1 2 時 0 0 分		
場 所	博多国際展示場 (第 1 回地域×Tech 九州)	自動車使用に 係る走行距離	km
研修(研究)事項	セミナー参加及び DX 活用最新技術の見学		
概要及び所見	10 時より、古賀市長による講演「古賀市における DX 推進の現状と展望」があった。市が DX 推進に取り組みなかで、市民にも協力を求めたところ、高齢者から苦情があり、そこから市が積極手に高齢者に学びの場を設定したということであった。玉名市においては、介護予防事業が各地で積極的に展開されているので、その場で、相談に応じることができる体制をとるもの一案ではないかと感じた。 その他、関連の出店企業があり、行政関係者も多く参加されていた。観光関係においても出店企業は、非常にスマートな取り組みであり、時代の変化の速さに驚くとともに、職員の負担も年々大きくなっていくのではないかと感じた。		

様式 1

研 修 (研 究) 報 告 書

令和 5 年 9 月 27 日

玉名市議会

議 長 江田 訂司 様

氏 名 近松 恵美子

下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

参 加 議 員	近松恵美子		
日 時	令和 5 年 9 月 27 日 (水) ~ 令和 年 月 日 () 午前・午後 2 時 30 分 ~ 午前・午後 時 分		
場 所	ホテル日航福岡	自動車使用に係る走行距離	km
研修(研究)事項	広域行政セミナー（九州の自立を考える会）		
概要及び所見	九州の自立を考える会、ということで、ご案内があったので参加してみた。 16年前に道州制の審議があったころに発足されたものであるとあったが、役員が全て福岡県内の方々であり、出席者も他県は少ない様子であった。発足当初の目的は薄れ、福岡中心の活動となっているのではないかと感じた。 講演は、九大の総長である石橋氏が「総合知で拓く未来社会—九州から日本、そして世界へ」というテーマで、主に九大が取り組んでいること、再生エネルギー、医療環境分野の研究内容などについてのお話しであった。		

様式 1

研 修 (研 究) 報 告 書

令和 5 年 10 月 25 日

玉名市議会
議 長

江田 計司

様

氏 名 近松恵美子

下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

参 加 議 員	近松恵美子		
日 時	令和 5 年 10 月 25 日 (水) ~ 令和 年 月 日 午前・午後 1 時 分 ~ 午前・午後 4 時 50 分		
場 所	西日本総合展示場	自動車使用に係る走行距離	km
研修(研究)事項	全国市議会議長会研究フォーラム		
概要及び所見	基調講演は、片山善博氏で、その後「統一」地方選挙の検証と地方議会の課題」をテーマにパネルディスカッションがあった。片山氏からは、 ①議場での審議がない。予算案が変わることがない、何を発言しても変わらない。結論が変わらない試合であり、市民からみてわからない。 ②税の議論がないが、住民の声を取りいれるためには、税率を上げるなどの議論も必要ではないか。 ③教師が非常に多忙であり、労働環境を良くすることや、教育委員の責任を吟味する必要があること、県教育委員会に物を言えるかが問われる。 などのご指摘があった。 議員の報酬だけでは生活が成り立たない、という現実があるが、議員活動に時間を割いて勉強し、議論していくことが今後益々求められると感じた。		

先進地（現地）調査報告書

令和6年2月1日

玉名市議会

議長 江田 計 司 様

氏 名 近松 恵美子

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調 査 議 員	近松恵美子		
日 時	令和6年1月25日(木)～令和6年1月30日(火)		
調 査 先	タイ王国	自動車使用に係る走行距離	km
調 査 事 項	タイの農業の実態と農業研修生の送り出し機構について		
調査先面会者	さくら日本語学校 MAYUREE JINA アジアインターナショナルネットワーク マンパワー SHOICHI SAHO ソムチャイ・チャカタカーン准教授		
概要及び所見	概要 1月26日 タイ王立学校農業クラブFFT 大会に出席。食品加工の展示が多かった。昆虫食の展示あり。 1月27日 北稜高校生、菊池農業高校生、農業実習生のための日本語学校の先生方、農業高校の先生との交流会 1月28日 山地帯を見学。田植え風景見学。手植えや、粃のバラマキ、田植え機械による田植えなど様々であるとのこと。収穫はコンバイン 1月29日 ・農業実習生を日本に派遣している事業所訪問。 韓国では日本の倍も稼げるために、日本で仕事を終わると韓国に渡る若者も増えているとのこと ・タマサート大学訪問 タイ人の8割は日本人を好きなので、実習生として日本で働くことになった若者を日本を好きになって帰してもらいたいと話されたことが印象的であった。また若者にチャンスを与えるために、もっと日本で働かせてもらいたいと農業高校の先生方が言われていた。 所見 外国人労働者の存在は、玉名の農業に限らず、介護その他の分野においても欠かせない存在である。タイは経済発展が目覚ましいが、貧富の差があり、日本で就労を希望している若者が多数いることがわかった。しかし、日本は賃金において周辺他国より低く、今後厳しい状況になることが予想される。だからこそ、生きている限り元気で働く高齢者づくりが大切になってくるのではないかと感じた。		

様式 2

先進地（現地）調査報告書

令和6年2月16日

玉名市議会

議長 江田 計 司 様

氏 名 近松 恵美子

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調 査 議 員	中村慎吾 浜田繁次郎 田浦敏晴 立川信之 坂本公司 西川裕文 近松恵美子 作本幸男 中尾嘉男		
日 時	令和6年2月14日（水） 午前 9時00分 ～ 午前10時30分		
調 査 先	萩市役所	自動車使用に 係る走行距離	km
調 査 事 項	萩まちじゅう博物館の取り組み		
調査先面会者	萩市商工観光部 次長 大槻洋二 商工観光部 まちじゅう博物館推進課 課長補佐 井上健助		
概要及び所見	概要： 萩市は吉田松陰の塾があったところでもあり、また明治維新で活躍した偉人も多く文化遺産も多いことから街並みを博物館化することで誘客をはかっていた。そのような努力にもかかわらず、人口は合併以来2万人減ったとのこと。 所見： 観光で暮らしをたてるのは、並大抵ではないとひしひしと感じた。現代人の心に響くものがないと、過去の遺産だけでは賑わうほどの誘客は難しいのかもしれないと感じた。		